



燈島小だより

<http://www11.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1510036>

令和7年12月24日

校長 野口 典弘
第9号



視点を変えれば世界が変わる

お昼になると流れてくる「熊出没特別警報」の放送。皆さんは、あの放送をどのような気持ちで聞いていますか？「怖いな」「まだ、気を付けなければならないのか」と感じるのが、私たち人間側の当たり前の視点です。しかし、少しだけ想像力を働かせて、「熊の視点（クマ目線）」で、この状況を見つめ直してみたらどうなるでしょうか。

熊の立場に立ってみると、全く違う物語が見えてきます。「お腹が空いたなあ・・・」山に食べ物が少なく、必死に家族と生きるための食糧を探しているだけかもしれません。「ここはどこだろう？」気づけば人間が作ったアスファルトの道に出てしまい、大きな音や光に、実は熊自身もパニックになっているのかもしれません。「怖いのはこちらのほうだ！」突然大きな音で自分を追い払おうとする人間に、恐怖を感じているのかもしれません。

もちろん、自分自身の安全を守るために警戒することは非常に重要です。しかし、一つの出来事を「人間側」からだけでなく「動物側」、あるいは「自然全体」の視点から眺めてみること。これが「多面的に物事を見る」という力です。

「あいつは悪いやつだ」と決めつける前に、「相手にはどんな事情があるのだろう？」と一歩立ち止まって考える。この姿勢は、仲間とのトラブルや、ニュースで見る社会問題、さらには自分自身の失敗を振り返るときにも、とても大切なヒントをくれます。自分と違う立場、違う価値観、違う視点に気付くことができれば、心には「想像力」という強さが宿ります。そして、多彩な視点が「優しさ」を生み出します。

学校生活の中でも、自分の「当たり前」は、相手の「当たり前」ではないかもしれません。嫌だと思った言葉の裏に、相手の寂しさが隠れているかもしれません。そんなふうに、物事を多面的に捉えられる大人へと成長してほしいと願っています。

ご家庭でも、お子さんと「反対側の立場ならどう思うかな？」とちょっとした視点の探検をしてみたらいかがでしょうか。



なかよし～全校だるまさんがころんだ～



なかよし～爆弾ゲーム～

2学期にがんばったこと

2学期は8月29日に始まり、79日間の授業日でした。子どもたちは、日々の授業に加え、校外学習や対外的な行事に積極的に参加し、鎧島っ子らしく伸び伸びと輝く姿を私たちに見せてくれました。

